

関係団体ヒアリング 地域コミュニティ分野（報告）

- 1 日時 令和元年8月28日（水） 19：15～21：00
- 2 場所 西北ふれあいセンター
- 3 団体名 西北校区まちづくり協議会
- 4 参加者 西北校区まちづくり協議会 役員 14 名
関係所属 地域コミュニティ推進室 1名 合計 15名



参加者の主なご意見

✿10年前から良くなったこと✿

- ◆ 避難所の開設を市職員と、地域で開設するようになり、迅速に対応ができるようになった。
- ◆ ほとんどの地域で少子化となっている中、西北地区は学童の子供の数が減っていない。
- ◆ まちづくり協議会の設立ができ、地域のつながりが少しずつ進んでいる。さらに、新たな人材の発掘ができてきている。

✿10年前から悪くなったこと・最近困っていること✿

- ◆ 社協を中心に西北校区のまちづくり計画を策定したが、継続した取組の実行ができなかった。
- ◆ 様々な制約があることから、公園で遊ぶ子どもが少ない。
- ◆ 校庭が使えず、子どもたちの遊べる環境が少ない。
- ◆ 身体が不自由であったり、場所がふれあいセンターから遠いなどの理由により、避難所に来れない人がいる。
- ◆ 子供の数が増えることで、空き教室がなくなり育友会が活動をする場がなくなってきた。
- ◆ 民生委員制度に無理が来ている。なり手がいない。
- ◆ 声を出さない方の声を吸い上げたい。何が不満で自治会に参加しないのか、そういう

ご意見をどうにか聞き出したい。

- ◆ 家庭に居場所がない、遊ぶ場所がない等の理由で引きこもりの子供が多い。

❖これから 10 年間、市が取り組むべきこと❖

- ◆ 西北校区は地域の事業をしてきていないので、ノウハウが全くない。イベントなどの経験がある方からのアドバイスや支援をしていただきたい。
- ◆ 子供が増えている地区には、特別な配慮をしていただきたい。
- ◆ 学童に行かないこどもたちは、友達をつくる機会・居場所がないので何とかしていただきたい。
- ◆ 子供たちが主体的に学べる環境を作ってほしい。
- ◆ 学校の校庭を開放してこどもの遊べる環境を作ってほしい。
- ◆ 地域のこどもは地域で育てる、地域の高齢者は地域で支える必要がある。地域がそれを具現化する際には、市の施策として保障(子供のあずかり時に怪我したときの保険等)制度が欲しい。
- ◆ 市が民生委員を必要と感じるのであれば、検討し存続する方法を模索すべき。
- ◆ 小さな自治会ごとにいろいろ活動したいと考えているが、活動をする公民館がないので、市が積極的に各地域に集まれる場所を作ってほしい。
- ◆ 市職員も自治会活動に積極的に参加していただきたい。